授業科目名	エステティック理論Ⅱ(皮膚科学		了属科学)	科目コード	1502016			
開講クラス	トータルビ	ユーティ科	コース	٦,	ース	学 年	2年	
担当教員	津田 由美子							
	実務経験教員( 有 ・ 無 )							
	実務経験内容 エステティシャン							
	1985 年~1990 年 エステサロン勤務							
	1993 年~2005 年 サロン(自営)							
	2010 年4月 日本エステティック協会認定指導講師							
開講時期	前期・後期・通年・特別講義・その他			授業コマ数 20/60 時間				
	必須	須・選択・選択必須			単 位	位数 単位		
使 用 テキスト1	書 名 新エステティック学							
	著 者 一般社団法人 日本エステティック協会							
	出版社 一般社団法人 日本エステティック協会							
使 用 テキスト2	書名							
	著者							
	出版社							
参考図書								
授業形態	講義・	演習 •	実習	• 実験 •	その他	(	)	

## <授業の目的・目標>

体表面全体を覆う最大の臓器であり紫外線や乾燥などの影響を防ぎホメオスタシスに大きな 役割を果たしていることを理解させる。皮膚の構造と働き理解し、4つの肌タイプ分類を理解 させ、肌の年代別変化を習得させる。

## <授業の概要・授業方針>

美しく健康に保つためのスキンケアの方法・皮膚の働きとしくみを指導する。皮膚の基本知識を理解し、T ゾーン・U ゾーンの皮脂、水分の関係から肌タイプの分類を習得し様々な肌に対応できるよう指導する。

## 〈成績基準・評価基準〉

優:課目に対する理解および日常の授業態度が著しく優秀な者(80点以上)

良:課目に対する理解および日常の授業態度が良好な者(70点~80点)

可:課目に対する理解および日常の授業態度がやや怠る者(60点~70点)

不可:課目に対する理解および日常の授業態度が著しく怠る者(59点以下)

## 〈使用問題集・注意事項〉

<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>

エステ理論

エステ実習

授業科目名		エステティック理論Ⅱ(皮膚科学)				
		授業内容	備考			
1	肌の美し	<b>」さを損ねる要因(紫外線)について</b>				
2	肌の美し	<b>」さを損ねる要因(冷え・乾燥)について</b>				
3	肌の美し	<b>」さを損ねる要因(加齢)について</b>				
4	肌の美し	<b>」さを損ねる要因(女性のリズム)について</b>				
5	肌の美しさを損ねる要因(ストレス・生活習慣)について					
6	肌意識の年代変化					
7	しわ・たるみについて					
8	しわ・たるみについて					
9	しみについて					
10	しみにこ	ついて				
11	ニキビに					
12	ニキビについて					
13	肌分析の					
14	肌分析の					
15	肌分析を行ううえで考慮すべきポイント					
16	肌分析を行ううえで考慮すべきポイント					
17	肌質チェック					
18	肌質チェック					
19	カウンセリングシート記入					
20	期末考益					